

# フラワーデザイン科 植物・ガーデンデザインコース 教育ポリシー

## アドミッション・ポリシー

《学校》

- ①食・農・緑のプロフェッショナルを目指す意欲のある人
- ②選んだ道に自信を持って前に進む強い意志のある人
- ③他者や地域社会との交流に積極的な人

《学科》

- ①様々なことに興味を持つ柔軟さがある人
- ②興味を持ったことに取り組む行動力のある人
- ③目指す目標に向かって努力を惜しまない人
- ④他者を尊重し助け合うことができる人

## カリキュラム・ポリシー

### 園芸業界の仕事を知る

1  
年  
前  
期

#### 達成目標

- ①生花店、園芸店、造園会社の仕事内容がわかる
- ②植物を活用した商品がわかる
- ③ガーデンデザインの製図ができるようになる
- ④園芸装飾3級合格または造園3級合格

主な履修科目

履修内容

- |           |                              |
|-----------|------------------------------|
| フラワービジネス論 | 生花店を通して小売業の経営について学ぶ（達成目標①）   |
| ガーデンデザイン論 | 造園の仕事内容を知る（達成目標①③）           |
| 園芸総合実習Ⅰ   | 園芸装飾3級、造園3級技能取得（達成目標④）       |
| 基礎園芸実習    | 野菜の栽培、収穫物の利用、園芸クラフト作り（達成目標②） |

### 園芸店、造園会社の仕事、その他の植物に関連する仕事を学ぶ

1  
年  
後  
期

#### 達成目標

- ①ガーデニングや園芸クラフトから植物を活用し、クオリティオブライフの向上をテーマにした新しい生活スタイルを学ぶ
- ②公園管理など、植物に関連した様々な仕事を知る
- ③園芸クラフトの作り方、活用の仕方を学ぶ
- ④イベントでの企画、運営の方法を学ぶ

主な履修科目

履修内容

- |           |  |
|-----------|--|
| 環境デザイン実習Ⅰ | 公園管理、個人宅庭園管理等様々な仕事を体験する（達成目標②）               |
| 園芸総合実習Ⅰ   | イベントでの企画、運営を学ぶ（達成目標③、④）<br>園芸クラフト作り（達成目標①、③） |
| ガーデニング実習  | 用途に合ったガーデニングの技術を学ぶ（植物の選択、デザイン、植栽、管理）（達成目標①）  |

## 就職したい職種を決めその分野の専門性を極める

2  
年  
前  
期

### 達成目標

- ①植物に関する様々な仕事を体験し目指す分野の専門性を極める
- ②園芸装飾 2 級合格または造園 2 級合格
- ③園芸業界の資格または自然環境関連の資格を一つ合格（グリーンアドバイザー、ピオトープ管理士 2 級、ハーブ検定）
- ④園芸関連のイベント対し、自らイベントの企画を立てそれを運営することができるようになる
- ⑤現在の環境問題に対し調査、研究ができ、その結果を活用し植物の力で解決する方法を提案できるようになる

主な履修科目	履修内容
環境デザイン実習Ⅱ	公園管理、企業の緑化環境の管理方法を学ぶ（達成目標①）
園芸総合実習Ⅱ	園芸装飾 2 級または造園 2 級技術取得（達成目標②） 自らイベントの企画を立てそれを運営する（達成目標③、④）
生態系調査	身近な自然環境を題材に環境保全を課題に調査をする（達成目標⑤）
植物病理学実験	植物の病害を題材に実験をし環境問題の新しい解決方法を考える（達成目標⑤）

## 自分で高度なフラワーデザインができ、新しい商品展開ができるようになる

2  
年  
後  
期

### 達成目標

- ①創造性豊かなガーデンデザインが一人で一からできるようになり造園コンクールに応募し、入賞を目指す
- ②環境に配慮した都市計画ができるようになる
- ③園芸関連のイベントに積極的に参加し自ら企画を立てそれを運営することにより業界に貢献する
- ④業界発展に必要な研究ができ、結果を業界関係者にプレゼンテーションできる
- ⑤高度な園芸装飾技能を身に付ける

主な履修科目	履修内容
園芸総合実習Ⅱ	自らイベントの企画を立てそれを運営する（達成目標③） 高度な室内園芸装飾技術を学ぶ（達成目標⑤）
環境デザイン実習Ⅱ	ガーデンデザインが一人で一からできるようになり造園コンクールに応募する（達成目標①）
都市計画	グリーンインフラを活用した持続可能な未来型の都市計画ができるようになる（達成目標②）
ゼミナール	園芸業界で現在ある課題に対し環境に配慮した持続可能な新しい提案ができるように研究する（達成目標④）

## ディプロマ・ポリシー

- ①ガーデンデザインの平面図、立面図、一点透視図が描けるようになる（製図の技術）
- ②植物に関する実験の実験器具操作ができるようになり、自分で実験計画を立てられるようになる（実験の技術）
- ③環境保全のための生態系調査に関する調査と結果の考察ができるようになる（調査の技術）
- ④園芸装飾技術が身に着く（園芸装飾 2 級程度）（装飾の技術）
- ⑤植物に関連したイベントの企画、運営ができるようになる（企画、運営の技術）
- ⑥植物に関連した小売店の経営が理解できる（仕入れ、販売、販売促進、簿記）（経営の技術）
- ⑦植物を活用し、クオリティオブライフの向上をテーマにした新しい生活スタイルを提案できるようになる（創造の技術）
- ⑧園芸業界の課題を見つけ、次世代に向けた持続可能な新しい提案ができるようになる（提案の技術）